



contents

[コラム]

主体的な学びとは・・・
…駒谷昇一

[解説]

高幼児教育におけるメディア活用の現状
とフューチャースクールにおける小学校
現場での ICT 利活用…堀田博史

[解説]

生徒・児童によるプログラミング
—バスケットの挑戦—
…原田康徳

Column

主体的な学びとは・・・



言うまでもなく、教育現場の主人公は学生です。重要なのは教員が『何を教えたか』ではなく、学生が『何を学んだか』です。そして、学ぶために最も重要なのは、『学生が主体的に学んでいるか』です。

次々と生まれる新技術。技術の陳腐化は速く、知の爆発が起き、スマートフォンで検索すれば必要な知識が即時に手に入る現在において、大学で何を学び、何を知識として記憶すればよいのか、学びの目標が見失われつつあります。このため、これまで以上に『自ら目標を設定して主体的に学ぶ』ことが重要になっています。

先導的 IT スペシャリスト育成推進プログラムでは全拠点の大学院で実践的な PBL (Project Based Learning) が行われ、PBL を通じて学生の主体性が伸びたと全拠点が答えています。筑波大学大学院の PBL では、学生が探してきた地元企業にお客様になっていただき、その企業の課題を分析し、その課題解決のための情報システムを構築し、運用を地元 IT ベンダに引き継ぐという授業を実施してきました。学生は『お客様に喜んでもらうために』システム構築に夢中になり、必要な技術を主体的に修得して、それを互いに教え合い、夜遅くまでチームで仕様の検討会議やデザインレビューを行っていました。

しかし、最初は指示待ちで、指示されたことしかせず、言い訳ばかりをする学生がほとんどでした。そこで、PBL の授業では、システム構築の基本的な考え方や勘所は教えるものの、実現方法は学生が考えて意思決定し、良い方法で取り組んでいれば『褒め』、問題と考えることが見当たれば学生に『その理由を問う』というコーチング的な教育方法を採用しました。主体的な学びを阻害している要因は、教えすぎていること、学生に考えさせないで、すぐに答えを簡単に与えてしまうことにあるのではないのでしょうか。

本来、学生は学ぶ意欲を持っていて、それに火を点けられれば、寝食を忘れるほどに主体的な学びに没頭します。学生が貴重な青春時代を有意義に過ごすために、寝食を忘れるほどに学ぶという経験は必要なのではないか、と思っています。そのような経験をしていない学生は気の毒だと思うのです。そして、若者にそのようなやる気の火を点けるのが、先輩としての使命だと思うのです。

先導的 IT スペシャリスト育成推進プログラムの成果として、全拠点の PBL のノウハウを結集した『PBL ノウハウ集』を作成し、以下の URL で公開しています。教材を Web で公開する場合の著作権ガイドラインなども含まれていますので、ぜひ一読いただければ幸いです。

参考：http://grace-center.jp/prj_kyozai.html

駒谷昇一 ((株) NTT データ 技術開発本部)